

会 議 録

- 1 会議名
平成30年度第2回 吹上・釜蓋遺跡調査指導委員会
- 2 議題（公開・非公開の別）
議事1 釜蓋遺跡の調査について（公開）
- 3 開催日時
平成30年11月20日（火）午後2時00分から3時30分
- 4 開催場所
釜蓋遺跡ガイダンス体験学習室
- 5 傍聴人の数
1人
- 6 非公開の理由
なし
- 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）
 - ・委員 : 岡村道雄（委員長）、橋本博文（副委員長）、五百川裕、小島幸雄
 - ・オブザーバー : 滝沢規朗（新潟県教育庁文化行政課副参事）、木島勉（糸魚川市教育委員会課長補佐）、佐藤慎（妙高市教育委員会主査）
 - ・事務局 : 文化行政課 中西課長、新保上席学芸員、羽深主任学芸員、湯尾主任、溝内主任、今井学芸員
- 8 発言の内容
別紙のとおり
- 9 問合せ先
教育委員会文化行政課 TEL : 025-545-9269
E-mail : bunkagyousei@city.joetsu.lg.jp
- 10 その他
別途の会議資料も併せてご覧ください。

平成 30 年度第 2 回 吹上・釜蓋遺跡調査指導委員会

平成 30 年 11 月 20 日（火）午前 2 時 00 分～3 時 30 分
釜蓋遺跡ガイダンス 体験学習室

1 中央部①の調査について

○竪穴建物跡（SI1568）について

（委員からの意見）

- ・ 4 本の支柱穴以外に、柱穴(p4・10)が中間から西に寄った位置で確認されているが、類例を知らない。
- ・ 支柱穴の中間に補助柱穴がある例は、古墳時代の居館関連の大型建物にある。
- ・ 柱の抜き取りが具体的に分かったのは興味深い。
- ・ 一番新しい段階の竪穴建物跡で柱を抜き取っているということは、古代の都を移す時に柱を抜き取って次の都に運ぶ例と似ており、面白い。
- ・ 抜き取った穴に土器を入れており、廃棄儀礼の可能性もある。
- ・ 縄文時代の遺跡の例では、柱を抜き取った穴に土器を入れ子状に入れたり、焼けたクリを詰めたり、石斧を立てた例などが確認されている。

○掘立柱建物跡（SB1585）について

（委員からの意見）

- ・ この建物が単独のものか、周辺に群在するのかが知りたい。今回の調査ではなされておらず、建物の性格を考えるには少し難しいのではないか。

2 中央部②の調査について

○周溝状遺構（SD1583-1・2）について

（委員からの意見）

- ・ 周溝の全体像が分からないので、遺構の評価がしにくい。
- ・ 新潟県内の例では、建物に伴う周溝は土坑が連続した状態で見られ、整然とした溝ではないものが多い。もう少し周溝を調査すると判断できるのではないか。
- ・ 竪穴建物跡が埋まった後に周溝状遺構が掘られている。この遺跡の最後に関わる、非常に面白い問題だと考えられる。